

宗雪 智子 (70期)

私は、2018年の1月から、コーポレートチームの一員として働いています。DLA Piper への入所を決めた理由は、世界中に拠点を有する法律事務所の一員として、国際的な仕事に携わりたかったこと、若手のうちから責任のある仕事ができ、事務所の発展に貢献できるとうかがったことです。入所してまだ数ヶ月ですが、日々、世界中から飛び込む新しい案件に携わることができており、充実した日々を送っています。



担当するほとんどの案件で使用言語は英語です。このため、日々の業務の積み重ねや、事務所内の外国人弁護士とのやり取り、海外のオフィスとの交流を通じて、着実に英語スキルは向上していきます。さらに、DLA Piper では自主的に取り組んだ英語の教材に対して補助金が助成されるなどの制度も整っています。

私はコーポレートチームに所属していますが、M&A や一般企業法務分野以外にも、税務、労務、規制法など、多様な業務に携わる機会をいただき、自分の能力を多角的に伸ばす環境に恵まれていると感じています。私にとっては、未知のビジネス・法分野を取り扱う案件ばかりで、苦勞することも少なからずありますが、好奇心を持って一つ一つの案件に取り組むことはとても楽しく、やりがいを感じるすることができます。

国際的な法律事務所でありながら、職場はとてもアットホームな雰囲気です。毎年のクリスマスパーティーや、事務所旅行など、イベントも充実しています。先輩方も気さくな方ばかりで、案件で行き詰ったときには、優しく相談に乗っていただいています。また、DLA Piper には、仕事と家庭の両立も含め、多様な働き方を実現している女性弁護士が国内外に多数在籍しており、若手女性アソシエイトにとって目標となるような先輩方ばかり

です。そのような先輩方と共に働き、お話をうかがえることは、自身の将来のキャリアプランを考える上で大きな糧になると感じています。

国際的な業務に興味があり、様々なことに挑戦したい方にとって、DLA Piper は最適な職場といえるのではないのでしょうか。興味を持ってくださった方は、ぜひ弊所に一度足を運んでみてください。